

人相撲 10年ぶり延岡場所

琴恵光、故郷に錦 大きな歓声

延岡市民館 延体

10年ぶりの大相撲延岡場所がきょう午前8時から延岡市民体育館で始まった。延岡出身の琴恵光関らを応援する大勢の相撲ファンが詰め掛けた。観客の2400席はほぼ満席となった。主催は延岡場所実行委員会（清本 宏名 会長、榎本 雄介 実行委員長）。



しい稽古を披露する琴恵光（中央）らきょう、延岡市民体育館

力士の一行約250人は6日の別府巡業を終えて夕方バスで延岡入り。けさ、会場に姿を見せた力士は疲れもみせず特設の土俵でさっそく稽古を披露。若手から土俵に上がり、激しくぶつかる音。琴恵光が土俵に上がり、アナウンスで紹介されるたびに大きな歓声が上がった。

稽古と同時進行で握手会があり、人気力士たちが来場者と握手や記念撮影でサービス。相撲ファンを楽しませた。

取組は序一段から三段目、幕下の順番で始まり、中盤になると、相撲甚句や初っ切りも披露され、会場をさらに盛り上げていた。取組は、土俵、幕内と続き大きな拍手に包



大勢の人が開場を待った



握手で観客を迎える琴恵光

まれていた。琴恵光にとっては、故郷に錦を飾ることになった。岡開催ではまだ黒色のまわし、九州場所後、関取が着られる。白まわし、土俵入りで皆さんに化粧まわしを見ていただけることがうれし」と地元開催を喜んでいた。